

読解力と考える力を伸ばそう！！

OECDが実施した2006年度学習到達度調査

	科学的応用力	読解力	数学的応用力
1	フィンランド	韓国	台湾
2	香港	フィンランド	フィンランド
3	カナダ	香港	香港
4	台湾	カナダ	韓国
5	エストニア	ニュージーランド	オランダ
6	日本	アイルランド	スイス
7	ニュージーランド	オーストラリア	カナダ
8	オーストラリア	リトアニア	マカオ
9	オランダ	ポーランド	リトアニア
10	リトアニア	スウェーデン	日本
11	韓国	オランダ	ニュージーランド
12	ロシア	ベルギー	ベルギー
13	ドイツ	エストニア	オーストラリア
14	イギリス	スイス	エストニア
15	チェコ	日本	デンマーク

2000年の結果～
 数学的応用力 日本(1位) 読解力 日本(8位)
 科学的応用力(2位)

Q: OECDの調査結果では、日本は2000年から比べて、**応用力・読解力共に順位を下げ**ています。天然資源のないアジア諸国が検討する中、同じく人的資源のみで競争せざるを得ない日本で、読解力や考える力(応用力)は、すべての基礎となる。特に作文に力を入れることで考える力を伸ばすことができますか？

A: 作文の指導において、ただ書くのではなく、まず読み、考えをまとめてから書くように指導している。市独自の教材「よみときブック」も広まってきている。

Q: 子育ての専門家で、「**あとのびする子育て**」を提唱されている先生がいます。基礎の学力は生きていく上で必要ですが、社会に出て役立たせるにはいかにその場で対応し、その場で判断できるかによります。ある程度の体験がないと、想像力も生まれません。体験学習だけでなく、広い意味での体験が必要と考えますが？

A (教育長): 今日の子どもたちは「外遊び」の経験が少ない。生活・社会・自然体験が貧弱になってきている。かつての「外遊び」では大人が介入せず、異なる年齢集団での仲間づくりや命の大切さ、耐える力を学べた。「遊び」を体験するとバランスよい魅力的な人間になれる。要望: たとえば、家の手伝いをもっと取り入れるようよびかけては。親の手伝いをする事で家の中のことが自分でできるようにもなり、生きる力にもなります。

発達障害児への支援を！！



Q: 私立幼稚園には県から発達障害児を対象に教員追加配置の助成がありますが、十分とはいえないと聞きます。3歳児健診での診断ではわかりにくく、実態として人数が多くなっているとも伺います。私立・市立を問わずに、研修などのサポートの仕組みも整える必要があると思いますが？

A: 私立幼稚園児への支援は、県が一義的に行っているが、市でも側面的な支援を行っている。特別支援教育に関する研修を行ったり、私立幼稚園連盟が行う編集への講師派遣や「子育て相談室」に助成を行ったりしている。

Q: また、小中学校では、特別支援教育支援員の更なる拡充が必要と聞きますが？

A: 発達障害児に対しては臨床心理士を目指す大学生が60日/70校。肢体不自由児・知的障害児については大学生・地域ボランティアを実情に応じて傾斜配分して配置している。「教育地域連携センター」と協力し、人材確保に努めたい。

発達障害について～文部科学省パンフレットより～

下記のような障害を称して、発達障害と呼んでいます。発達障害のある子どもは、障害を抱えています。優れた能力を発揮する場合もあります。できる限り早期から適切な支援を受けることによって状態が改善する場合も期待されます。

- *LD (学習障害)・・・知的発達に遅れは見られませんが、聞く・話す・読む・書く・計算するの能力のうち、極端に苦手な側面が見受けられます。
- *ADHD (注意欠陥多動性障害)・・・注意力や衝動性、多動性などが年齢や発達に不釣り合いで、社会的な活動や学業に支障をきたすことがあります。
- *高機能自閉症・アスペルガー症候群・・・相手の気持ちを察することや周りの状況に合わせて行動が苦手であったり、特定のものにこだわる傾向が見られます。

図書館司書の充実を！！

図書館の指定管理者制度

図書館の指定管理者制度は、H19年の定例市会で導入のための図書館条例が改正され、H20年度から導入が進められてきました。背景には、「祝日開館や開館時間の延長」への市民の強い要請と、併せて図書館の効率的な運営ニーズがあります。各区にある**地域図書館は指定管理者制度**へと移行しますが、大倉山の中央図書館は**直営のまま維持**されます。

Q: 指定管理者導入後、窓口の司書さんの入れ替わりが早すぎるというご指摘を受けました。特に子どもさんが本のことで相談相手になってもらうのに、慣れないうちに人が変わってしまうということでした。定着できる工夫はできないですか？また、図書館司書の職員採用では、8年間新規採用がないと聞きますが、司書の育成には時間を要します。専門知識や技術が継承されないのでは？

A: 司書の定着度について指定管理館と直営館を比較すると、むしろ指定管理館の方が若干いいものとなっていた。市の図書館勤務の経験があると定着度は高いことがわかった。今年度の指定管理館の研修では、現場に出る前に研修に多くの時間を割くようにした。採用については、ノウハウの継承など継続性に支障をきたすことは認識している。司書職員の余剰状態はもうしばらく続くものと思われ、新規採用には数年かかる。

〒655-0034 神戸市垂水区仲田 3-1-8-202 (垂水支部) 神戸市会議員 川原田弘子事務所
 TEL&FAX 078-709-8998
 e-mail: happy@hiroko-club.com
 URL: <http://www.hiroko-club.com>

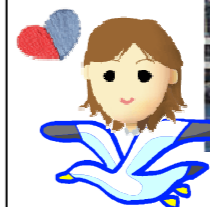
ご相談はこちらに



〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
 民主党神戸市会議員団
 TEL 078-322-5844
 FAX 078-322-6161



先日、世界初のマンション船「ザ・ワールド」が神戸港に入港しました。神戸空港から撮影された写真(読者投稿?)です。最近、外国客船の入港誘致も進んでいて、神戸港は華やかです。これから、11月、12月は、「スプリット・オブ・オセアナス」「エクスプローラー」「飛鳥II」「ぱしふいっくびいなす」「ふじ丸」の各客船が次々と入港します。客船の情報は、ホームページなどでご確認ください。
<http://www.city.kobe.lg.jp/culture/leisure/harbor/passenger/>



神戸で作られた客船「ふじ丸」